



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

TOYO ELECTRIC CORPORATION

第81期

上半期報告書

2019年4月1日から

2019年9月30日まで

Contents

P1

決算ハイライト

P2-4

マネジメント対談

**明日につながる 強固な事業基盤づくりを
いまこそ、改革・改善に着手しよう。**

P5-6

セグメント別概況

P7-8

連結決算概要

P9

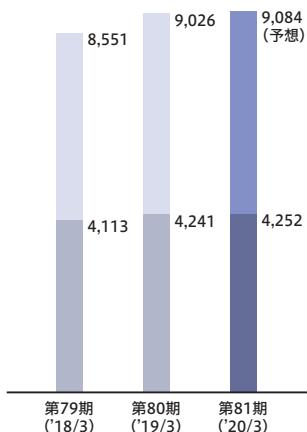
TOYOのものづくり／トピックス

P10

会社概要／株式状況

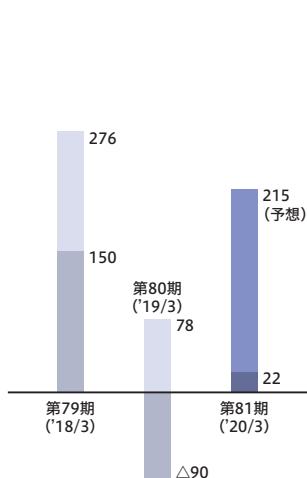
売上高

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



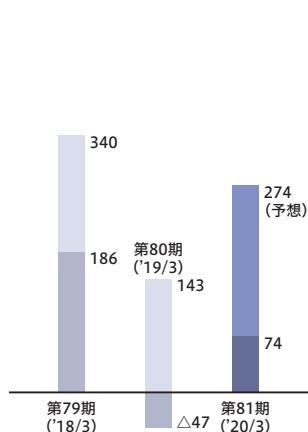
営業利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



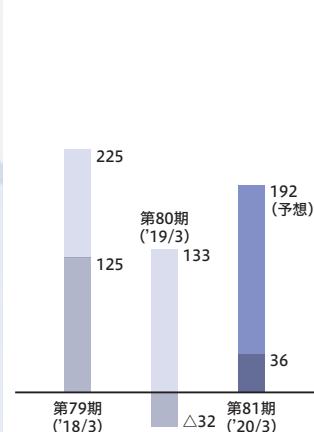
経常利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



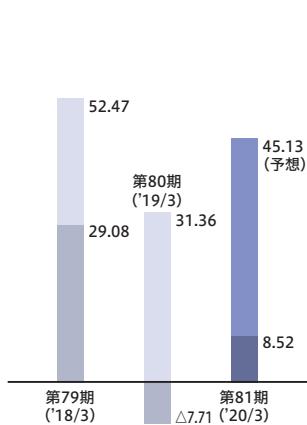
親会社株主に帰属する純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



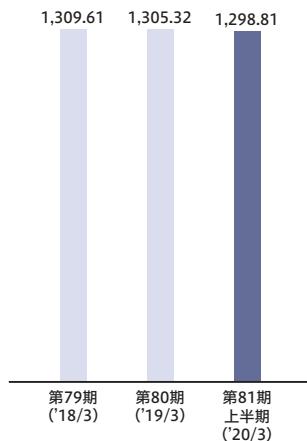
1株当たり純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



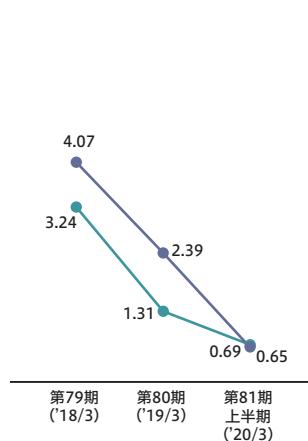
1株当たり純資産額 (BPS)

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



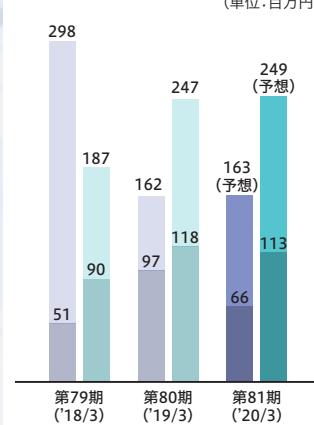
株主資本利益率 (ROE) / 総資産経常利益率 (ROA)

● 株主資本利益率 (ROE) (単位:%)
● 総資産経常利益率 (ROA)



設備投資額 / 減価償却費

設備投資額 ■ 通期 ■ 上半期
減価償却費 ■ 通期 ■ 上半期
(単位:百万円)





執行役員
エンジニアリング事業部長
井澤 宏

代表取締役
社長執行役員
松尾 昇光

執行役員
変圧器事業部長
石塚 豊

執行役員
機器事業部長
菅 幸彦

執行役員
デバイスソリューション事業部長
安田 茂

“社長と国内事業部長が東洋電機の今を語る”
**明日につながる 強固な事業基盤づくりを
 いまこそ、改革・改善に着手しよう。**

経営環境と上半期の業績

新年度がスタートして半年が経過しました。経営環境はいかがでしょうか。

松尾 景気は緩やかな回復基調が継続していますが、製造業に携わる皆さんは慎重です。設備投資は増加傾向にあるものの機械投資には弱さが見られるなど、力強さに欠ける受注環境で推移しました。また、繁忙

期は残業が増加傾向になってしまいますが、時間当たりの生産性に対する意識向上を図るなど改善を推進してまいりました。

業績はほぼ計画どおりの進捗でしょうか。

松尾 売上面では増収を維持しました。利益面でもようやく黒字に転換しました。これは国内の売上増加に加え、原価率の改善や経費抑制により販売管理費が減少したこと

が寄与しました。この数年、株皆様のご期待に応えることができなかつただけに、ひとまず安堵するとともに更に気を引き締めて事業基盤の強化に努めてまいります。

国内事業部の成果から

国内が健闘したとのことですが、4事業部長に振り返ってもらいます。

井澤 エンジニアリング事業部は、ネット通

販の活況で物流関連設備の投資が増加し、宅配業界向けの物流向け搬送制御システムが順調に需要拡大しています。バブル期の設備が更新時期を迎え産業向けの配電盤も受注が増加しています。また、東京オリンピック/パラリンピックをにらみ、新聞社が印刷制御装置の設備更新をする局面でもあり、売上が増加しました。



執行役員
機器事業部長

菅 幸彦

菅 機器事業部は、センサや空間光伝送装置などを取扱っています。主力となるエレベータセンサはほぼ横ばいでしたが、安全装置への投資は一段落し、前期と比べ減少しています。空間光伝送装置は、新製品開発に注力しましたが、上半期中の市場投入には遅れ、売上は減少しました。

石塚 変圧器事業部は、電気炉は需要が一巡したことにより売上が減少しましたが、防災対応、IT関連等による大量のデータ保管からデータセンサ向け変圧器の需要が拡大したことにより、売上が増加しました。

安田 デバイスソリューション事業部は、表示器への投資が一段落し、上半期の売上は減少しましたが、物流制御機器の需要が拡大し、減少分を補填しました。

材料費の高騰や人手不足にはどのような対応がされているのでしょうか。

井澤 エンジニアリング事業部は、配電盤や制御盤の製造で鋼材を多く使用するため、東洋電機グループで連携し材料の調整をしています。また、価格の交渉をお客様とも行い、利益の出ないものは無理に受注しないこともあります。

石塚 変圧器の製造には銅を多く使用します。一時期、銅はかなり高騰しましたが、昨今では石油由来の絶縁物も高騰してきました。生産側として材料の高騰分を改善すべく生産性向上に努めています。



執行役員
変圧器事業部長

石塚 豊

海外の動向について

中国とタイの動きはいかがだったでしょうか。

松尾 中国の南京華洋電気有限公司は、エレベータセンサの価格競争の激化と自動化設備の需要低迷に加え、人民元安が進行したことにより減収・減益となっています。また、中国は米中貿易摩擦により設備投資が大きく減速し、もう一つの柱である盤事業も今後さらに厳しくなる見通しです。そのため、既存顧客のフォローに加えて更なる新

規開拓を強化しています。

タイは、これまで牽引してきた自動車関連業界にかつてのような勢いが見られませんが、日系自動車メーカーだけでなく、現地メーカーの仕事も減少している状況です。

事業部の課題と対処法

市場は目まぐるしく変化しています。今後の対処法についてもお聞かせください。



執行役員
エンジニアリング事業部長

井澤 宏

井澤 物流向け搬送制御システムについては、首都圏の大型案件も動き始めています。お客様のご要望をしっかりとつかんで、期待に応えていかなければなりません。産業向けの配電盤は、生産量の増加が課題です。新しい生産体制を構築するとともに、原価改善を行い、適正利益を確保しなければなりません。

菅 下半期は空間光伝送装置で3~4品種の新製品を発表します。第一弾としてCEATEC2019(10/15(火)~10/18(金)幕張メッセ)では、アナログハイビジョン信号対応の空間光映像伝送装置を出品しました。新製品で既存のお客様に有効な提案を行うとともに、新規のお客様の発掘につなげます。材料費の高止まりに対処するには、

これまでと同じやり方では利益の追求はできません。部品の置き換え、製品の見直しを急ぎたいと思います。また、若手社員による作業の見直しグループを発足させ、新しい視点での作業工程の見直し・改善を図るとともに、労働生産性を上げるため、ITを活用した業務の“見える化”にも取り組んでまいります。

石塚 変圧器はデータセンタなどからの引合いが続いています。今後はデータセンタだけでなく、導入開始から20年が経過するデジタル放送設備の更新、都市圏の再開発などをにらみ、需要を掘り起こす必要があります。下半期からは新しい乾式の変圧器を発売するとともに、機械化や自動化も進め、増益に寄与できるように努めてまいります。



執行役員
デバイスソリューション
事業部長

安田 茂

安田 デバイスソリューション事業部は、商材を増やす必要性を痛感しています。テーマ別の市場でお客様とのパイプをさらに太くするためです。電力調整器(パラコン)がありますが、一品物の製品に加えて、規格品の製品を取揃えていきます。もう1つは環境モニタリングです。粉塵や臭気を計測してデータ化するものですが、既存のMAGICBEEに加えて、年内にはLoRa無線によるモニタリング装置(MAGILORA)を投入する計画です。

働き方を見直し、働きがいを育てる

**日本と海外、
グループ会社との連携など
新しい動きも始まっています。**

松尾 海外の売上拡大には国内との協力・連携が欠かせません。グローバルに対応した製品開発で連携を図りたいと考えています。国内では原価低減した新型乾式変圧器の開発、LoRa無線によるモニタリング装置(MAGILORA)、電力調整器(パラコン)、超高速空間光電送装置(MAGICBEAM)などの新製品に期待するとともに、時期を見て海外への展開を目指します。

菅 日本国内、海外のお客様の価格要求が更に厳しくなっております。機器事業部では上半期からいろいろ対策してきたのですが、海外の競合他社の動きが早く、製品展開についても再度見直しを進めています。

日本・中国・タイの各拠点と連携しながら、需要がある製品に絞り込み、最適な設計・生産を進める必要があります。

井澤 エンジニアリング事業部では、中国の南京華洋電気有限公司の従業員を迎え、盤の設計者を養成しています。中国向けだけでなく、中国で日本向けの盤の設計もできるようになればと考えています。

菅 当社には中国やタイから技能実習生が来ています。来年にはベトナムからも迎える予定です。技能実習生も貴重な人財かつ戦力です。国内で一定の経験を積んで、やがて現地拠点で活躍してもらえるようにしっかりと実習を実施していきます。



代表取締役
社長執行役員

松尾 昇光

松尾 ものづくりの研修に加え、設計者を育てるという試みは素晴らしいと思います。多様な人財の多様な能力を活かせる企業にならないといけません。

**成長には働き方や働きがいの
見直しも必要となりそうですね。**

松尾 業務量が増える一方で、残業も増加しています。働き方改革がスタートし半期が経過した今、より一層、仕事と家庭の両立を鑑みる必要性が高まっています。

下半期では、外部コンサルタントを導入し、仕事の進め方、働き方のセミナーを計画しています。社内横断的な連携も視野に入れ、各事業部から参加を募り、そこで学んだことをさらに展開したいと思っています。

当社の創業者が掲げてきた、「働きがいのある職場づくり」を実現するためにも、一度ゼロベースで検討し、各事業部長には改革・改善の舵取り役になって欲しいと願っています。

引き続き、株主様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

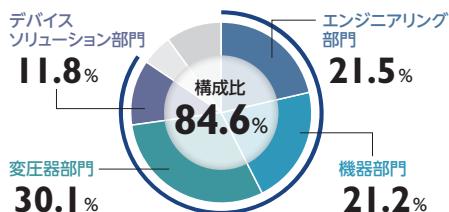
1. 国内制御装置関連事業

売上高

3,596 百万円

前年同四半期比3.4%増

営業利益 △13百万円



国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしております。当事業は4部門から構成されており、その内、機器部門の売上高が減少したものの、エンジニアリング部門、変圧器部門ならびにデバイスソリューション部門の売上高が増加したことにより、売上高は3,596百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。

エンジニアリング部門

売上高 912 百万円

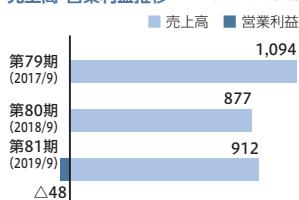
[前年同四半期比4.0%増]

営業利益 △48百万円

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野および配電盤分野が増加したことにより、売上高は912百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。

売上高・営業利益推移

(単位:百万円)



主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 宛名紙印刷搭載機

宛名紙印刷搭載機



機器部門

売上高 901 百万円

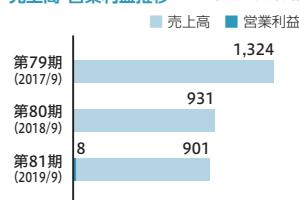
[前年同四半期比3.2%減]

営業利益 8百万円

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、センサ分野および空間光伝送装置分野が減少したことなどにより、売上高は901百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

売上高・営業利益推移

(単位:百万円)



主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

変圧器部門

売上高 1,280 百万円

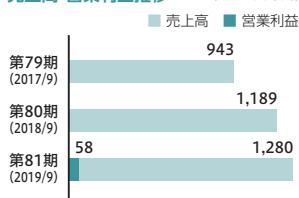
[前年同四半期比7.6%増]

営業利益 58百万円

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンタ向けの需要が増加したことなどにより、売上高は1,280百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

売上高・営業利益推移

(単位:百万円)



主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

乾式変圧器
TKHⅢシリーズ

デバイスソリューション部門

売上高 501 百万円

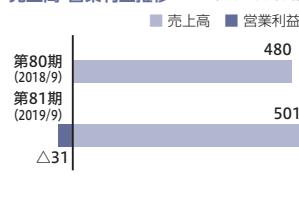
[前年同四半期比4.4%増]

営業利益 △31百万円

デバイスソリューション部門の事業は、これまで培ってきた商品開発・システム開発の経験に基づき、新しい商品やソリューションを提供しております。当事業の内、ソリューション向け装置分野が増加したことなどにより、売上高は501百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

売上高・営業利益推移

(単位:百万円)



主要製品

- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 交流電力調整器
- 情報表示器
- マジックピー

省配線型搬送
コントローラ(MRC)

2. 海外制御装置関連事業

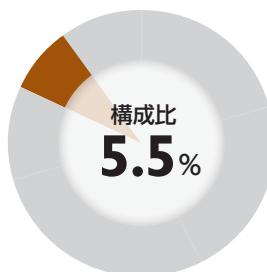
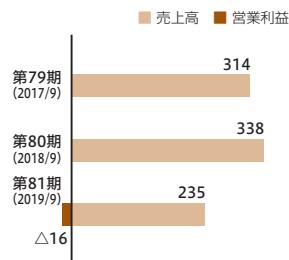
売上高 **235** 百万円

前年同四半期比30.5%減

営業利益 △16百万円

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、アジア市場でエレベータセンサの需要が低迷したことなどにより、売上高は235百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

●盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)

- ・高圧受配電盤
- ・コントロールセンタ
- ・PLC応用制御盤



C型コントロールセンタ



- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
- ・マルチビームセンサ
- ・かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

3. 樹脂関連事業

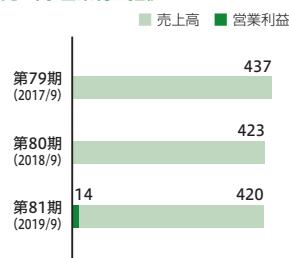
売上高 **420** 百万円

前年同四半期比0.7%減

営業利益 14百万円

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、米中貿易摩擦の影響により海外向け売上が減少したことなどにより、売上高は420百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

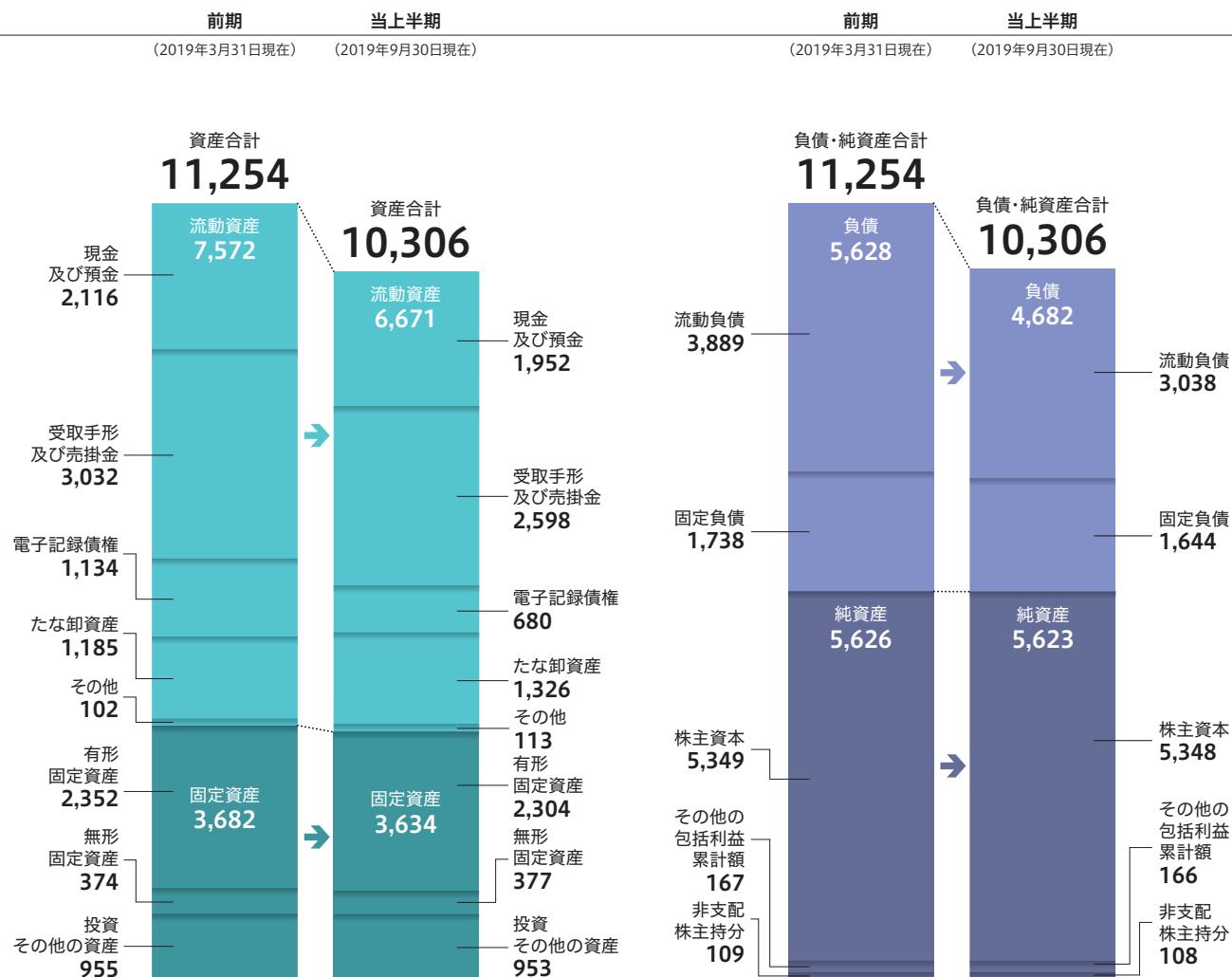
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

(注) 1. 今期分より営業利益を併記しております。2. セグメント別および部門別の営業利益は連結調整前の数値であります。

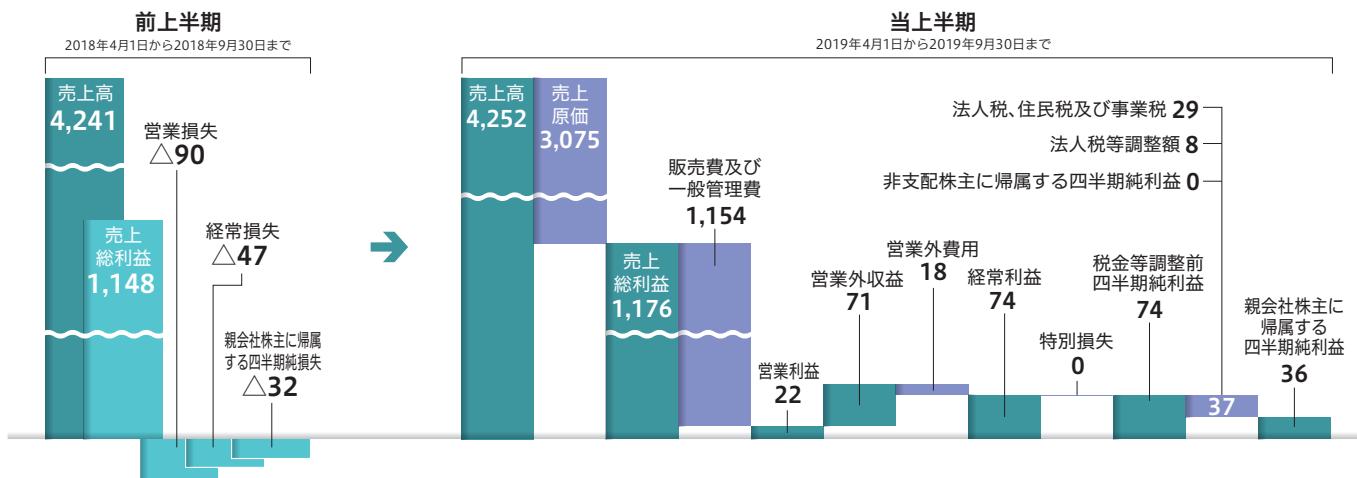
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



POINT

総資産は、現金及び預金ならびに受取手形及び売掛金の減少などにより前期末比948百万円減少し、負債は短期借入金ならびに支払手形及び買掛金の減少などにより前期末比945百万円減少しました。なお、純資産はその他有価証券評価差額金の減少になどにより前期末比3百万円減少しました。

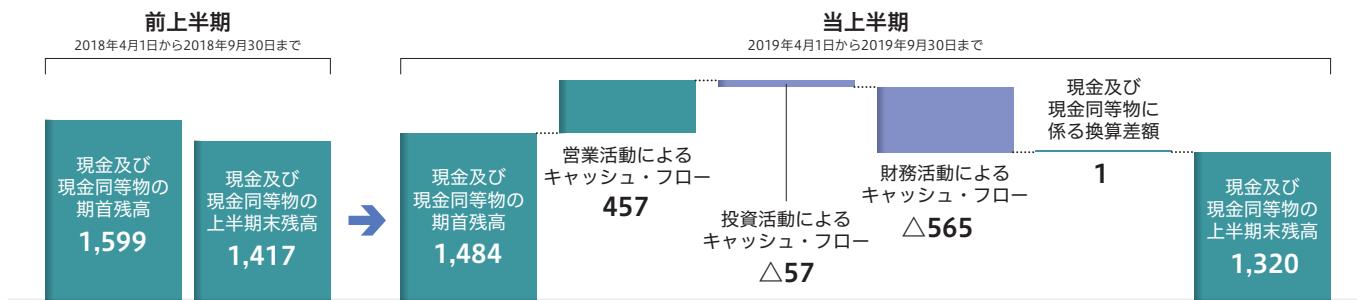
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期は、国内外の成長市場への新規深耕開拓、当グループ海外企業2社との連携強化による売上規模の拡大、売上総利益を意識した生産性に対する意識向上を図るなど収益性改善に向けた取り組みを推進してまいりました。売上高は、変圧器部門およびエンジニアリング部門の売上が増加したことなどにより0.3%増収となりました。利益面では、原価率の改善や経費抑制により販売費及び一般管理費が減少したことにより営業利益、経常利益ともに増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ165百万円減少し、1,320百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少による収入などにより457百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより57百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出などにより565百万円となりました。

新製品のご案内

ソリッドステートリレー WSDAシリーズ

幅広いニーズに対応する新製品を販売。
きめ細やかな電圧管理で
産業用設備のエネルギー供給を支えます。



【今後の展開】

幅広いニーズに対応し、
提案の幅を広げることで、
市場での拡販を
目指します。

【特長】

- ◎幅広い電圧(AC90~480V)に対応し、お客様のニーズに応えます。
- ◎ヒートシンク付で設置スペースを最小限に抑えた形状により、省スペース化に貢献します。
- ◎動作表示灯、端子カバーを標準装備し、使いやすさに配慮しています。
- ◎半導体を使用した無接点リレーにより、高速かつ長寿命を実現します。
- ◎CEマーキングに適合し、海外でも使用可能です。

【主な用途】

- ◎工業用ヒータ、工業炉における電力供給など。

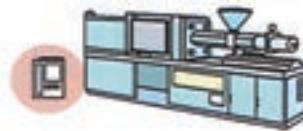
鉄鋼業界

- ◎熱処理用ヒータなど



成形機器業界

- ◎射出成形機など



半導体業界

- ◎恒温槽など



空調設備業界

- ◎クリーンルームなど



トピックス

TOPICS

TOPICS

1

「証券アナリスト向け イベント(東京会場)」に 初出展しました

2019年8月29日に東京・日本橋にて開催された名古屋証券取引所主催の「証券アナリスト向けイベント」に初出展いたしました。

当日は、4名のアナリストと面談を行い、経営状態や財務状況、新製品開発事例や今後の見通しについて意見交換を行いました。

今後とも積極的なIR活動を展開し、広く企業価値の向上に努めてまいります。

TOPICS

2

サマーフェスティバルを 開催しました

2019年8月2日に本社・春日井工場内にてサマーフェスティバルを開催しました。

本イベントは、地域住民や当社グループ社員とその家族を対象として、地域とのコミュニケーションやチームワークづくりを目的に今年で5回目の開催となります。

当日は、多数の地域住民の皆様にご来場いただき、飲食や歓談を通じて交流を深めました。また、今年は新たに特設ステージを設け、大道芸人によるパフォーマンスや来場者参加型ゲームなどのイベントを実施し、大盛況のうちに終了しました。



会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	個別:227名 連結:465名

役員

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 専務執行役員	松村和成
取締役 常務執行役員	丹羽基泰
取締役 常務執行役員	奥村光宏
取締役 相談役	松尾隆徳
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注) 取締役葛谷昌浩及び井上誠の各氏は、社外取締役であります。

株式の概況

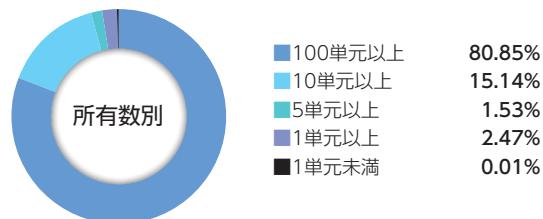
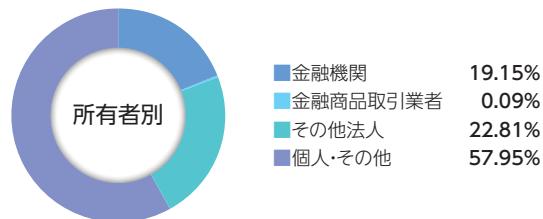
発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式448,170株を含む)
株主数	1,469名

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.13%
東洋電機取引先持株会	297千株	7.00%
東洋電機従業員持株会	239千株	5.63%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.47%
株式会社百五銀行	214千株	5.03%
松尾隆徳	182千株	4.30%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.41%
松尾昇光	126千株	2.97%
第一生命保険株式会社	125千株	2.94%
日本生命保険相互会社	125千株	2.94%

(注) 持株比率については、自己株式(448,170株)を控除して算出しております。

株主分布図



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第81期中間配当金に関するお知らせ

INFORMATION

第81期中間配当金は、2019年11月6日開催の取締役会で1株につき12円と決議いたしました。

なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、2019年12月3日となります。

(注)「第81期中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」のご案内は、郵送による発送をやめ、当社Webサイトへの掲載に変更させていただいております。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページ


<http://www.toyo-elec.co.jp/>

お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

